

(広報資料)

令和5年12月27日
京都市文化市民局
(担当 美術館 ☎ 075-771-4107)

京都市立芸術大学移転記念展 特別展
「日本画の名作はこうして生まれた」(仮称)の開催

京都市京セラ美術館では、京都市立芸術大学の京都駅東部への移転を記念して、展覧会「京都市立芸術大学移転記念 日本画の名作はこうして生まれた(仮称)」を開催します。

1 展覧会名

京都市立芸術大学移転記念 特別展
「日本画の名作はこうして生まれた」(仮称)

2 会期

令和6年10月11日(金)～令和6年12月22日(日)

3 展覧会概要

2023(令和5)年、京都市立芸術大学はキャンパスを京都駅東部へ全面移転しました。京都市立芸術大学は、1880(明治13)年に京都府画学校として開校して以来、何度も校地を移転しながら歴史を重ねており、今回もまた新たな歴史の1ページとなります。

京都の画家たちが、日本画の将来を託して紡いだ学校の歴史。竹内栖鳳、山元春挙などが教壇に立ち、土田麦僊、村上華岳、小野竹喬ら数多くの画家が学びました。その後巨匠となり、京都画壇に燦然と輝いた画家たちの若き日の挑戦や、また教員となった画家たちが京都の代表として矜持をもって制作した作品は、学校の歴史とともに存在します。

この度本市では、京都市立芸術大学移転記念として特別展を開催いたします。大学の前身である京都府画学校や美術工芸学校、絵画専門学校など近代における歩みを資料によって振り返り、それら学び舎が育んだ日本画の名作を御紹介します。

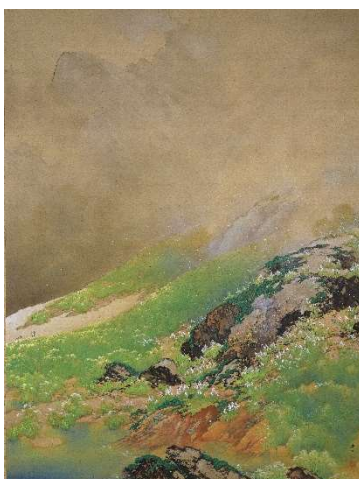
4 会場

京都市京セラ美術館 本館 南回廊1階
開館時間：午前10時～午後6時(最終入場は閉場の30分前まで)
休館日：月曜日(祝日の場合は開館)

5 主な出品作品



菊池契月「散策」(1934年)
※いずれも京都市美術館所蔵



山本春挙「山上樂園」(1922年)



村上華岳「阿弥陀」(1916年)

6 主催 (予定)

京都市、京都新聞

7 協力

京都市立芸術大学